

平成19年8月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年7月4日

上場会社名 株式会社コシダカ

上場取引所 JQ

コード番号 2157

URL <http://www.koshidaka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼 経理部長 (氏名) 酒井 幹雄

TEL : (027) 280-3381 (代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成19年8月期第3四半期財務・業績の概況 (平成18年9月1日 ~ 平成19年5月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年8月期第3四半期	8,329	—	413	—	433	—	221	—
18年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考) 18年8月期	8,878	—	552	—	560	—	319	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年8月期第3四半期	11,078	98	—	—
18年8月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 18年8月期	15,986	60	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
19年8月期第3四半期	4,470	1,045	23.4	52,263	26			
18年8月期第3四半期	—	—	—	—	—			
(参考) 18年8月期	3,291	886	26.9	44,305	19			

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
19年8月期第3四半期	622	△1,186	651	717				
18年8月期第3四半期	—	—	—	—				
(参考) 18年8月期	830	△957	259	628				

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第3四半期末	
	円	銭
19年8月期第3四半期	—	—
18年8月期第3四半期	—	—

3. 平成19年8月期の業績予想(平成18年9月1日～平成19年8月31日)

【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	11,891	33.9	793	43.6	809	44.3	366	14.7	17,685	43

(注) 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 財政状態の変動状詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績がこれと異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間における当社の業績は、売上高8,329百万円、営業利益413百万円、経常利益433百万円、四半期純利益221百万円となりました。

当第3四半期の国内経済は、原料価格の高騰と市中金利の上昇などの懸念材料がありつつも、企業収益の拡大と旺盛な設備投資を背景に、国内需要は高まり、個人消費も活気を帯びてまいりました。

当社の中核事業であるカラオケルーム業界においては、価格面、接客サービス面、飲食提供面などにおける店舗間競争はますます激しくなっております。このような経済情勢および業界動向の中で、当社はカラオケ店32店舗の新規出店を積極的に行ってまいりました。その結果当社のカラオケ店は全国で218店舗となりました。第3四半期は営業面で閑散期にあたること、積極出店によるイニシャルコスト負担などにより、カラオケボックス事業の売上高は8,215百万円、営業利益は434百万円となりました。

カーブス事業においては、当四半期は新規出店は行わず、既存店の会員増強と顧客サービスの向上に努めてまいりました。その結果売上高は112百万円、営業損失は△23百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末比1,179百万円増加となり、4,470百万円となりました。この増加は主に、積極出店に伴う有形固定資産の増加938百万円と敷金・保証金の増加89百万円、および現金及び預金の増加88百万円によるものであります。

負債は前事業年度末比1,020百万円増加となり、3,425百万円となりました。この増加は主に、未払金の増加323百万円、長期借入金の増加786百万円によるものであります。

純資産は前事業年度末比159百万円増加となり1,045百万円となりました。この増加は主に、四半期純利益221百万円によるものであります。

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は88百万円増加し、717百万円となりました。当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フローは以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は622百万円であります。これは、法人税等の支払額307百万円などにより減少した一方で、税引前四半期純利益405百万円と減価償却費406百万円などにより増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,186百万円です。これは主に、積極出店に伴う有形固定資産の取得による支出1,085百万円と保証金の差入による支出106百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は651百万円です。これは主に、長期借入れによる収入が1,300百万円となった一方で、長期借入金の返済による支出を513百万円行ったものによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社の中核事業であるカラオケボックス事業は、地方郊外型カラオケの繁忙期となる忘年会シーズンを含む第2四半期と帰省盆休みシーズンを含む第4四半期において、特に大きな集客が期待でき業績を上げられるパターンとなっております。そのため第1四半期と第3四半期に出店を集中させ、第2四半期と第4四半期に業績効果を上げられるように努めております。

そのため第3四半期の業績予測には、新規出店集中によるイニシャルコストの負担と閑散期としての売上および利益の推移を予め見込んでおり、業績実績もほぼ予測どおりに推移しております。

以上のことから、平成19年8月期の業績につきましては、概ね予想通りに推移しております。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税効果会計計算は行っていません。

税金費用については、当年度の見積実効税率を用いて計算しております。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	当四半期 (平成19年8月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年8月期 第3四半期末)	(参考) 平成18年8月期
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)			
I 流動資産			
現金及び預金	765,653	—	671,012
売掛金	8,395	—	4,936
たな卸資産	68,981	—	56,272
前払費用	351,330	—	327,429
その他	114,850	—	72,049
貸倒引当金	—	—	△36
流動資産合計	1,309,211	—	1,131,663
II 固定資産			
有形固定資産			
建物	1,337,129	—	936,920
構築物	61,877	—	19,844
器具及び備品	893,174	—	397,068
土地	160,802	—	160,136
その他	1,361	—	1,789
有形固定資産合計	2,454,345	—	1,515,759
無形固定資産			
ソフトウェア	13,449	—	16,268
その他	4,065	—	4,065
無形固定資産合計	17,514	—	20,334
投資その他の資産			
投資有価証券	47,900	—	45,066
出資金	30,270	—	30,270
長期前払費用	88,147	—	104,238
敷金・保証金	467,617	—	378,093
フランチャイズ加盟予約金	57,500	—	67,500
その他	6,399	—	4,487
貸倒引当金	△8,163	—	△6,315
投資その他の資産合計	689,671	—	623,340
固定資産合計	3,161,532	—	2,159,434
資産合計	4,470,743	—	3,291,098

科目	当四半期 (平成19年8月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年8月期 第3四半期末)	(参考) 平成18年8月期
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
(負債の部)			
I 流動負債			
買掛金	111,469	—	103,601
短期借入金	2,800	—	33,336
1年以内返済予定長期借入金	745,838	—	382,316
1年以内償還予定社債	40,000	—	40,000
未払金	520,651	—	197,471
未払費用	398,891	—	349,279
未払法人税等	58,620	—	173,090
未払消費税等	25,268	—	65,087
賞与引当金	167,000	—	92,302
その他	25,666	—	23,314
流動負債合計	2,096,205	—	1,459,799
II 固定負債			
社債	60,000	—	100,000
長期借入金	1,236,473	—	813,467
その他	32,799	—	31,728
固定負債合計	1,329,272	—	945,195
負債合計	3,425,478	—	2,404,994
(純資産の部)			
I 株主資本			
資本金	10,000	—	10,000
利益剰余金	1,027,208	—	869,628
株主資本合計	1,037,208	—	879,628
II 評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	8,056	—	6,474
評価・換算差額等合計	8,056	—	6,474
純資産合計	1,045,265	—	886,103
負債・純資産合計	4,470,743	—	3,291,098

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	当四半期 (平成19年8月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年8月期 第3四半期)	(参考) 平成18年8月期
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I 売上高	8,329,517	—	8,878,036
II 売上原価	6,743,553	—	7,108,298
売上総利益	1,585,964	—	1,769,737
III 販売費及び一般管理費	1,171,974	—	1,217,524
営業利益	413,990	—	552,212
IV 営業外収益	58,311	—	53,677
V 営業外費用	38,692	—	44,919
経常利益	433,608	—	560,971
VI 特別利益	3,796	—	6,934
VII 特別損失	32,346	—	10,035
税引前第3四半期(当期)純利益	405,058	—	557,870
税金費用	183,478	—	238,138
第3四半期(当期)純利益	221,579	—	319,731

(3) (要約) 第3四半期株主資本等変動計算書

当四半期(自平成18年9月1日 至平成19年5月31日)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	利益剰余金					利益剰余金合計	
		利益準備金	その他利益剰余金					
			別途積立金	特別償却準備金	繰越利益剰余金			
平成18年8月31日残高(千円)	10,000	2,500	540,000	4,953	322,175	869,628	879,628	
四半期中の変動額								
剰余金の配当(注)	—	—	—	—	△64,000	△64,000	△64,000	
四半期純利益	—	—	—	—	221,579	221,579	221,579	
別途積立金の積立(注)	—	—	250,000	—	△250,000	—	—	
特別償却準備金取崩額	—	—	—	△586	586	—	—	
特別償却準備金繰入額	—	—	—	—	—	—	—	
株主資本以外の項目の四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	
四半期中の変動額合計(千円)	—	—	250,000	△586	△91,834	157,579	157,579	
平成19年5月31日残高(千円)	10,000	2,500	790,000	4,367	230,340	1,027,208	1,037,208	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
平成18年8月31日残高(千円)	6,474	6,474	886,103
四半期中の変動額			
剰余金の配当(注)	—	—	△64,000
四半期純利益	—	—	221,579
別途積立金の積立(注)	—	—	—
特別償却準備金取崩額	—	—	—
特別償却準備金繰入額	—	—	—
株主資本以外の項目の四半期中の変動額(純額)	1,581	1,581	1,581
四半期中の変動額合計(千円)	1,581	1,581	159,161
平成19年5月31日残高(千円)	8,056	8,056	1,045,265

(注) 平成18年11月の定時株主総会における利益処分項目であります。

前事業年度(自平成17年9月1日 至平成18年8月31日)

	株主資本							
	資本金	利益剰余金					利益剰余金合計	株主資本合計
		利益準備金	その他利益剰余金					
			別途積立金	特別償却準備金	繰越利益剰余金			
平成17年8月31日残高(千円)	10,000	2,500	310,000	1,881	238,515	552,896	562,896	
事業年度中の変動額								
剰余金の配当(注)	-	-	-	-	△3,000	△3,000	△3,000	
当期純利益	-	-	-	-	319,731	319,731	319,731	
別途積立金の積立(注)	-	-	230,000	-	△230,000	-	-	
特別償却準備金取崩額	-	-	-	△928	928	-	-	
特別償却準備金繰入額	-	-	-	4,000	△4,000	-	-	
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	
事業年度中の変動額合計(千円)	-	-	230,000	3,071	83,660	316,731	316,731	
平成18年8月31日残高(千円)	10,000	2,500	540,000	4,953	322,175	869,628	879,628	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
平成17年8月31日残高(千円)	2,135	2,135	565,032
事業年度中の変動額			
剰余金の配当(注)	-	-	△3,000
当期純利益	-	-	319,731
別途積立金の積立(注)	-	-	-
特別償却準備金取崩額	-	-	-
特別償却準備金繰入額	-	-	-
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	4,339	4,339	4,339
事業年度中の変動額合計(千円)	4,339	4,339	321,071
平成18年8月31日残高(千円)	6,474	6,474	886,103

(注) 平成17年11月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成19年8月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年8月期 第3四半期)	(参考) 平成18年8月期
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前第3四半期(当期)純利益	405,058	—	557,870
減価償却費	406,875	—	345,958
減損損失	31,596	—	—
貸倒引当金の増減額(減少:△)	1,811	—	6,335
賞与引当金の増減額(減少:△)	74,698	—	47,878
受取利息及び受取配当金	△639	—	△3,149
支払利息及び社債利息	25,884	—	27,527
為替差損益(差益:△)	—	—	△242
有形固定資産売却益	△8	—	△6,934
有形固定資産除却損	750	—	6,522
有形固定資産売却損	—	—	321
売上債権の増減額(増加:△)	△3,459	—	△4,478
たな卸資産の増減額(増加:△)	△9,177	—	△5,514
前払費用の増減額(増加:△)	△13,527	—	△39,384
仕入債務の増減額(減少:△)	7,868	—	14,534
未払金の増減額(減少:△)	48,535	—	7,871
未払費用の増減額(減少:△)	52,305	—	81,768
未払消費税等の増減額(減少:△)	△39,819	—	△773
その他	△30,004	—	41,971
小計	958,747	—	1,078,080
利息及び配当金の受取額	521	—	323
利息の支払額	△28,988	—	△23,638
法人税等の支払額	△307,489	—	△223,993
営業活動によるキャッシュ・フロー	622,791	—	830,771

	当四半期 (平成19年8月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年8月期 第3四半期)	(参考) 平成18年8月期
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△1,085,943	—	△731,137
有形固定資産の売却による収入	△366	—	27,654
無形固定資産の取得による支出	—	—	△13,765
長期前払費用の取得による支出	△10,129	—	△60,912
保証金の差入による支出	△106,279	—	△107,801
保証金の返還による支出	12,788	—	3,313
定期預金の預入による支出	△6,306	—	△7,908
フランチャイズ加盟予約金の払込による支出	—	—	△72,500
フランチャイズ加盟予約権の売却による収入	10,000	—	—
その他	△211	—	5,892
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,186,449	—	△957,166
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(純減少:△)	△30,536	—	33,336
長期借入れによる収入	1,300,000	—	650,000
長期借入金の返済による支出	△513,472	—	△380,618
社債の償還による支出	△40,000	—	△40,000
配当金の支払額	△64,000	—	△3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	651,992	—	259,718
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	242
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	88,334	—	133,566
VI 現金及び現金同等物の期首残高	628,790	—	495,224
VII 現金及び現金同等物の期末残高	717,124	—	628,790